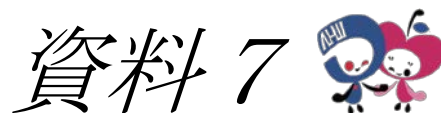




# Press Release



報道関係者各位

平成29年 9 月 27 日  
青森県立保健大学

## 平成 29 年度 国際科講演会

### 国際的に活躍している青森のひと～日本を出て見えてきたこと～

#### I. 国際科講演会の趣旨

国際科委員会では、国際的な視点から、医療福祉分野の専門とする本学の特性を活かした講演会を、毎年開催してきた。講演会は、地域住民を対象とし、国際交流のみならず、多文化共生を考える契機を提供し、他の国やそこで暮らす人々への理解に繋げることを目的としている。

最近の実績として、専門性を活かした米国のベレノバ大学教員による「看護シミュレーション教育」に関する講演や、毎年本学と交流を行っている韓国のインジェ大学教員による「韓国の理学療法教育」に関する講演など、グローバルな視点を養う講演も行われてきた。

#### II. 開催概要

今年度の国際科講演会では、青森市出身であり、海外で活動していた経験をもつ人に講演していただく。海外で活動しようと思ったきっかけや、どのような活動をしていたのか、日本に戻ってきて考えていること等、改めて日本や青森を再発見できる講演である。

講演者の略歴

田山美由紀 氏 青森市出身。青森県立保健大学看護学科卒業。看護師として医療機関に 8 年間勤務する。その後、青年海外協力隊（JICA）の看護師隊員として、モンゴルで 2 年間の任務を遂行し、2017 年 7 月に帰国する。帰国後は、再び看護師として勤務。

山内リチャードソン澄子氏 青森市出身。ミシガン大学ソーシャルワーク大学院修了。ニューヨーク市で地域福祉事業に従事。県内で地域活性化事業に携わる。GLOBAL TABLE 代表。地方におけるインバウンド受入や地域観光の支援事業を企画・運営している。

#### III. 注目点

国際科では、多文化共生をテーマに掲げ、これまで様々な講演会を開催してきた。昨年度の国際科講演会では、長年青森で暮らし、県内で活躍している外国人 2 名を招き、青森の魅力が再発見することができた。

今年度は、青森市内の出身者であり、海外で活躍していた方々に、海外に行くきっかけや、海外での活動を同うだけにとどまらず、日本に戻ってきて考えていることや、その後の活動の変化を伝えてもらうことによって、青森を改めて知り、考える機会になることを期待している。

期間：平成 29 年 11 月 11 日 13:30～15:00

定員： 200 名

場所：青森県立保健大学 A 棟 111 教室

問い合わせ\*\*\*\*\*

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1

TEL:017-765-4085 FAX:017-765-2021

担当：地域連携推進課 岡嶋

\*\*\*\*\*